

1. 評価結果概要表

作成日平成 19年 8月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	270201353		
法人名	社会福祉法人弘前わかば会		
事業所名	グループホームベルフラワー		
所在地 (電話番号)	青森県弘前市城南5丁目13番地15 (電話) 0172-36-6517		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 6月 29日	評価確定日	平成 19年 8月 28日

【情報提供票より】(平成 19年 6月 7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・ <u>平成</u> 15年 5月 2日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	16,000 円	その他の経費(月額)	11,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要(6月 7日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	0 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	74 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂本アレルギー呼吸器科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム内の食堂は、大きなガラス張りで屋外には大きな桜の木が茂り、丁度よい木陰を作っている。食堂からはウッドデッキに出ることができ、花がたくさん植えられていて楽しむことができる。敷地内には、母体施設の特別養護老人ホーム・デイサービスの建物があり、窓から見る景色も近くの民家と土淵川等自然環境もよい立地条件となっている。管理者を中心に、職員のチームワークもよく、常に利用者サイドに立ちながらサービスの向上に努力している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	個別記録についての見直しと、アセスメントに基づいた作成についての検討課題があったが、記録物の整理・改善がされていた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価を全職員で行い、評価結果を全職員で受け入れ、見直しとサービスの質の向上に向け取り組まれている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目	運営推進会議での意見等は、サービスの向上に活かす努力はしているが、まだ回数も少なく地域との会議のずれもあり、今後回数を重ねることで、地域における認知症ケアの中核となるように努力をしていこうとしているため今後に期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
重点項目	入居者の毎日の生活をブログで公開し、定期的に家族の方へサービスアンケートを実施し運営に反映する努力をしている。また、面会時や電話連絡時に何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに努めている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	グループホームから地域活動への参加はまだまだであるが、近隣の方や小学生はたまに敷地内へ来て交流機会はある。今後は、運営推進会議を通じ、地域の方と日常的に交流する方法を話し合い、実践していくことを前向きに考えている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認され理念をつくりあげ、玄関・廊下・スタッフルームに掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員が理念が書かれた名刺を携帯し、朝の申し送り時に読み合わせを行っており、具体的なケアについての意見の統一を図られている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	事業所がまだ地域活動に参加し交流するまで至っていないが、近隣の方や近くの小学生がたまに敷地内に来ての交流はみられている。		今後、運営推進会議等を通じ、地域の方と日常的に交流する方法を話し合い実践されることが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価を全職員で行い、サービスの質の向上に努めている。評価の結果を全職員で見直し、改善に向けて取り組まれている。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で出た意見等は、サービスの向上に活かす様にされている。</p>		<p>運営推進会議数もまだ浅い為、地域との会議でのずれもあり今後回数を重ねることでサービス向上に役立っていくことを期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村との連絡を取り入れ、現場の情報や相談等を伝えている。今後も続けて行きより良いサービスを提供されるように努力している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強会を開き職員の理解を深めるようにされている。</p>		<p>学ぶ機会を設け、家族や入居者にも制度についての説明をされ、活用出来るよう支援していけるように努力されることを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会やミーティング等を実施され、虐待がないように注意し、防止に努めている。</p>		

外部 評価 値	自己 評価 値	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、入居者・家族に十分な説明を行い理解を得ている。また、事業所のケアに関する考え方や取り組み、退居を含めた事業所の対応可能な範囲についても説明されている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>同意を得た上で入居者の毎日の様子をブログで公開され、季刊誌等でも家族に様子を知らせている。また、健康状態や受診の結果等もその都度報告されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>定期的に家族の方にサービスアンケートを実施され、運営に反映されている。また、家族が面会に来られた時には声をかけるなど何でも言ってもらえる様な雰囲気をつくっている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者・家族への信頼関係を築くためにも、顔馴染みの職員の重要性を考えて異動等を最小限に抑える努力をされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所での勉強会はもちろん、事業所外の研修会にも多くの職員が参加されるようにされている。また参加された研修会の勉強会、報告会が行われている。		出来ればパート職員も職員同様に勉強会、報告会以外の研修会への参加できる配慮を期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は他グループホームとの情報交換も行い、良いところは取り入れるようにされている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と相談され、入居者がグループホームで安心して生活出来るように見学していただいたり、職員が入居者同士の人間関係がスムーズに行くようにさりげなくサポートされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者は人生の先輩であるという考えを職員が共有されており、お互いが協働しながら和やかな生活が出来るように場面づくりや声掛けを行っている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりに合わせ意思を尊重されている。意思疎通が困難な方には、家族や関係者からの情報を得るようにされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者が自分らしく生活出来るよう本人や家族の要望等を聴き、反映させるようにされている。職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員が情報を確認し、家族や本人の要望を取り入れ、期間が終了する前に見直し、状態が変化した際にはその都度検討見直しがされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の要望や、そのときの状況に応じ個別の対応が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医の他に、入居者のかかりつけ医の受診も受けられる体制が整っている。また夜間等でも協力医に連絡し適切な医療が受けられている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化、終末期に対する対応方針を定め、早い段階で家族・本人・医師と話し合いをされ支援につなげている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者一人ひとりを尊重され、その方にあった適切な言葉掛けや対応がなされている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>仕事上の時間は決まりがあるが、買い物や散歩等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者の状態により、準備や片付けを職員と一緒に行われている。職員は入居者が楽しく食事が出来るような支援をされている。</p>		<p>家庭的な雰囲気を作る上で職員も入居者と一緒にテーブルで食事をとることにより、より楽しく食事が出来る雰囲気が出ると思われる。</p>
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は決められているが、入居者の希望を受け入れ、いつでも入浴される体制がとられている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりが自分で出来る事(玄関の掃除、洗濯たたみ等)を自然に役割とされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>テラスを開放されいつでも出られるようになっている。また、散歩・買い物・ドライブの支援も定期的実施されており、支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>管理者、職員は身体拘束についての勉強会を行っているし拘束をしないケアを行っている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>徘徊がみられる方がおり、以前居なくなったことがあり、全入居者、家族に事情を説明され許可をもらい、玄関に鍵を掛けている。</p>		<p>今後は徘徊に付き合いながら原因が何なのか等、研究し入居者が少しずつ落ちついて生活できるように支援することを期待したい。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回以上、消防署の立会いのもと避難訓練が行なわれている。</p>		<p>防災意識の向上と地域住民の協力を得るため、今後は地域住民の方にも参加を呼びかけて行くことを期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分量を毎日チェックされている。定期的に医師や管理栄養士の専門的アドバイスをもらっている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>事業所内で起こり得る感染症について、勉強会やマニュアルを作成し、全職員で学習され予防・対策に努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	グループホームの中は外からの光が入りとても明るい雰囲気であり、食堂から出られるウッドデッキは景色もよく緑に囲まれている。廊下にはソファも置いてあり、入居者はゆったりとくつろげる場になっている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮			
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各自が使い慣れた物を使われ、居心地よく生活できるようにされている。		

 は、重点項目。